

インドネシア水道に係る情報収集 No. 180501J

検索サイト	Google	実施日	2018/05/03	実施者	TADOKORO
<p>検索方法：「インドネシア AND 水道」で検索（「インドネシア の 水道」と表示される）</p>					
<p>URL: http://www.chugoku.meti.go.jp/research/kankyo/130404.html</p>					
<p>標題：平成 24 年度中小企業等産業公害防止対策調査「ベトナム及びインドネシアにおける水ニッチビジネス展開に向けたプロジェクト具現化モデル調査」について</p> <p>平成 25 年 4 月 4 日 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課</p>					
<p>内容：</p> <p>本調査は、中国地域の中小企業の中で海外展開の動き（芽）のあるものをモデルとして選定し、ベトナム及びインドネシアの水ニッチビジネス参入を目的とした。</p> <p>ベトナム養殖場水質改善プロジェクト、インドネシア簡易上水開発プロジェクトを立ち上げ、それぞれについて「国内外の人的・組織的ネットワークづくり」、「技術・システムの現地化」にポイントを置き、5 回の研究会と 2 回の現地 FS 調査を実施して、「現地で役立つプロジェクトの構築」を目指した。</p> <p>インドネシアプロジェクトまとめ</p> <p>【技術・システムの現地化】 今回のコア技術としたシーズは、濁水を弱い圧力であつという間に透明にでき、さらにブラシで擦って洗浄できるという強い膜（SP 膜（コア技術の膜））である。この膜は、その特徴ゆえ応用が高く、あらゆる現場で対応可能だが、これをどこの現場でどういったニーズに対応させ、どのようなシステムとして構築していくかがプロジェクト構築のポイントであった。しかしながら、インドネシアには様々な水に関わる課題があり、さらに当初想定した 飲み水というターゲットも、上水道の配管に問題があるので飲み水よりも生活用水の方がニーズが大きいという情報もあり、ターゲットの絞り込みができず、システムの構築 にまで至っていない。</p>					
<p>備考 中国経済産業局の調査報告書。5 年以上前と古いですが、参考にはなる。</p>					